

地 域 再 生 計 画  
事 後 評 価

安全で安心なたくましいまち 岡谷

平成27年4月

長野県岡谷市

地域再生計画事後評価調書

都道府県名	長野県		市町村名	岡谷市		地域再生計画名	安全で安心なたくましいまち 岡谷				
計画期間	平成20年度～平成24年度		事業期間	平成20年度～平成24年度							
地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標		計画値		実績値		効果発現要因				
	指標 1	交通渋滞の緩和（迂回路の確保）	基準年度		基準年度	事後評価	総合所見				
			観望橋付近 0.2km 市役所付近 0.2km	平成19年度	観望橋付近 0.2km 市役所付近 0.2km	平成25年度	○	道整備交付金を活用した道路網の整備効果により、目標値を概ね達成できた。			
	指標 2	森林の整備（搬出間伐比率の増加）	10.0%	平成19年度	39.0%	平成23年度	○	林道整備の効果により間伐地域へのアクセス改善がなされたことに加え、平成23年度から国の補助事業制度の改正により切捨て間伐から搬出間伐への大幅な転換が図られた。			
	指標 3	市民との協働による森林の育成（植樹面積の増加）	25ha	平成19年度	27ha	平成23年度	○	林道整備の効果に加え、市民の防災意識の高揚が図られ、管理者のみならず地域住民による植樹活動が盛んとなり植樹面積が増となった。			
指標 4	防災・減災の推進（災害に対する施設整備の満足度）	32.0%	平成19年度	23.8%	平成26年度	×	指標値は市民アンケート結果による数値である。他地域の災害の影響により防災意識及び防災施設整備への住民ニーズの高まりを受け目標達成に至らなかった。				
事業の進捗状況	事業名		整備量		目標の達成に対する評価及び今後の対応						
	特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	3.34 km	3.17 km	道路整備により、緊急時のバイパス道路網の構築が図られ、幹線道路である県道及び市街地の渋滞緩和につながる見込みである。残された区間を整備することで目標の達成を行う。						
		林道整備事業（整備延長）	1.30 km	1.13 km	林道整備により、今まで搬出機材が進入できなかった箇所についてアクセス改善が図られ切捨て間伐から搬出間伐への転換が図られた結果、搬出間伐比率が増となったが、まだ整備が必要な路線があるため、引き続きの整備が必要である。						
	事業名		事業内容		目標の達成に対する評価及び今後の対応						
	その他の事業	平成18年度7月豪雨災害復旧事業	平成18年7月豪雨災害により被災した市道、林道、河川、農業施設などを復旧する事業		被災直後から速やかな施設復旧が求められていた。復旧が全て完了したことで被災前の安心安全な環境が整った。						
砂防、治山、治水事業		砂防、治山、河川事業を実施し再度災害を防止を図る事業		土石流が発生した市内21溪流及び山腹崩壊箇所の施設整備が全て完了し以前よりも安心して暮らせる住環境が整った。しかし、依然として土石流危険箇所が存在するため砂防えん堤等の整備を引き続き実施している。							
自主防災組織活性化事業		市民の防災意識の高揚と自主防災会の育成強化及び連携を図る事業		防災訓練、水防訓練等を官民合同で定期的実施することで、自主防災会の育成強化及び連携強化が図られた。また、イベント時にはパネル展等を開催し、市民の防災意識の高揚につながった。							
まちづくり活性化事業		岡谷市独自の特色（うなぎ・童画・太鼓）を生かしたまちづくりを推進し地域の活性化を図る事業		ブランドプロモーション協議会を発足させ、従前の情報発信に加え、SNSを用い市内外への情報発信を行うことで観光客の増加につながったと考えている。また、岡谷市の歴史文化を物語る商品開発も行われている。							
計画全体の総合評価と今後の方策	本地域再生計画では、道整備交付金を活用し市道整備と林道整備を一体的に実施し、地域間ネットワーク網が構築できたことで主要幹線道路及び市街地の渋滞緩和や森林整備促進などの効果を実現できたものと考えられる。また、箇所ごとの進捗の度合いにより柔軟な予算措置が可能であったことが効率的な整備につながった。一部、他機関の河川整備事業の影響で未着手の路線があるが、周辺道路環境の整備に伴い概ね計画目標を達成できるものと見込んでいる。今後は未整備箇所の進捗を図るとともに、ソフト整備の推進により安全安心なまちづくりを行っていく。										